

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：平成27年度）

施設の名称	仙塩流域下水道施設
指定管理者の名称	みやぎ流域下水道施設管理運営共同事業体
施設所管部課(室)	土木部下水道課

1. 当該施設の管理形態の推移【下水道課・事務所記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
～平成18年3月	管理委託	財団法人宮城県下水道公社	
平成18年4月～平成21年3月	指定管理	財団法人宮城県下水道公社	
平成21年4月～平成26年3月	指定管理	一般財団法人宮城県下水道公社	
平成26年4月～平成31年3月	指定管理	みやぎ流域下水道施設管理運営共同事業体	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください

2. 指定管理者の概要【下水道課・事務所記入】

指定管理者の名称	名称	みやぎ流域下水道施設管理運営共同事業体
	代表団体	一般財団法人宮城県下水道公社
	所在地	仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5カ年)	
募集方法	公募	

3. 施設の概要【下水道課・事務所記入】

施設名称	仙塩流域下水道施設		
所在地	多賀城市大代六丁目4-1		
設置年月日	昭和53年6月1日		
根拠条例等	流域下水道条例		
設置目的	仙台市、塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町及び利府町の3市2町において、都市の健全な発達と生活環境の改善を図り、公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資する。		
施設の内容	処理場(仙塩浄化センター)1箇所、ポンプ場(塩釜)1箇所 幹線流量計等の設備及び全てのマンホール蓋		
指定管理者が行う業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場施設の運転監視 ・水質検査業務 ・産業廃棄物処分の実務及び確認等 ・点検業務(日常・定期・臨時・定期自主) ・処理場、ポンプ場及び幹線流量計設備等の専門的な保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品及び故障した部品の交換 ・処理場及びポンプ場等の小規模修繕 ・幹線流量計等の点検・清掃等 ・施設内の設備保安警備 ・処理場の見学者案内 ・その他 		

4. 施設運転実績【下水道課・事務所記入(太枠内は指定管理者が記入)】

(1) 施設運転実績

項目	事業計画	実績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
流入汚水量(千m ³)	40,882	40,724	40,439	98.92%	99.30%
発生脱水汚泥量(t)	21,610	22,700	20,828	96.38%	91.75%

5. 管理運営収支実績【下水道課・事務所記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位：千円，%)

項目	事業計画	実績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	1,620,578	1,667,712	1,562,859	96.44%	93.71%
その他収入	0	0	0		
収入計(a)	1,620,578	1,667,712	1,562,859	96.44%	93.71%

(2) 支出

人件費	343,582	343,582	343,582	100.00%	100.00%
直接経費	523,199	520,932	482,827	92.28%	92.69%
委託費等	478,319	529,131	455,740	95.28%	86.13%
その他経費等	275,478	274,067	280,710	101.90%	102.42%
支出計(b)	1,620,578	1,667,712	1,562,859	96.44%	93.71%

(3) 収支

収支(c) = (a) - (b)	0	0	0		
-------------------	---	---	---	--	--

6.評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者、下水道課・事務所記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【下水道課・事務所記入】		
				評価		評価	
施設の目的に沿って安定した管理運営に努める	<p>①処理場施設の運転監視 水処理、汚泥処理の目標値達成のための操作及び監視、指標による設定値の変更、運転の変更業務。</p> <p>②水質試験業務 水処理、汚泥処理の運転状況の確認及び運転指標を得るための水質及び汚泥の試験業務。</p> <p>③廃棄物処分の実務及び確認等 下水処理の過程で発生する脱水ケーキ等の産業廃棄物の運搬処分に関する業務。</p> <p>④点検業務(日常・定期・臨時点検等) 運転状況を日常的に把握し、設備の保全、延命化を図るための各種の点検業務。</p> <p>⑤保守点検(専門的な点検) 設備の機能を保全し、延命化を図るための専門的な技術者による保守点検業務。</p> <p>⑥部品の交換 設備の保全及び機能回復を図るための交換業務。</p> <p>⑦小規模修繕 設備の故障等の機能の回復のための専門的な技術者による修繕業務。</p> <p>⑧幹線流量計の点検・清掃等 各接続点からの汚水量を測定する精度を保つための点検・清掃業務。</p> <p>⑨施設内の設備保安警備 人的、カメラ監視及び出入退場管理による施設内保安業務。</p> <p>⑩見学者案内 施設見学への対応、一般公開イベントの開催</p> <p>⑪薬品及び備品の管理 薬品の使用状況、在庫状況、備品の管理業務。</p> <p>⑫異常時及び災害時の対応 水質・設備の異常、災害への備えと対応業務。</p> <p>⑬施設内・敷地内の環境整備 施設内の清掃及び樹木の剪定、除草業務。</p> <p>⑭安全対策 安全教育、事故、労働災害等の対策。</p> <p>以上これらの業務を実施した。</p>		<p>・年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。</p>		A	<p>年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。</p>	A
人員体制	正規63人	非正規0人					
施設の機能を最大限発揮し管理水準等の向上に努める	<p>・他流域下水道からの汚泥の柔軟な受入対応と効率的な汚泥の焼却処理 夜間を中心に脱水を実施することで、他流域からの脱水ケーキ受入れを容易にし、また、仙塩浄化センターの汚泥発生量減少に伴い、他流域からの汚泥に関し、6月から日曜日の搬入台数1台の増加を図った。汚泥の受入台数増の変更に伴う処理委託費用の節減額は300万円程度が見込まれる。</p> <p>・確実なオペレーション 七北田川幹線管渠長寿命化工事への対応 作業環境を確保するための夜間の低水位運転について、県及び施工業者と連携を密にし運転操作を行うことで、工事の施工に協力した</p> <p>汚泥処理監視制御装置長寿命化工事への対応 機械濃縮、脱水機等の設備停止への対応、新規システムへの切り替え、新旧システム混在時のオペレーションも支障なく対応し移行ができた。</p> <p>・脱水機薬品供給配管の改善 空気配管から薬品供給配管にチューブを取り付け空気を送ることに、高分子凝集剤を落下しやすくし、閉塞防止措置を行った。</p>		<p>・年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営をおこなった。</p>		S	<p>年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。</p>	A
費用対効果の高い効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の節減に努める	<p>・委託による効率的な管理運営、経費節減 250万円以上の委託については、一般競争入札を基本とし、22,500千円の経費節減ができた。</p> <p>・合算発注や長期契約による効率化 排ガス測定分析業務及びダイオキシン類分析業務を合算し、更に長期契約(4年)を行うことで協定金額比36%節減。 消防設備保守点検業務を長期契約(4年)することで協定金額比32%節減。</p> <p>・遠心脱水機消泡剤添加方法の改善 既設置の添加位置では、マンホールからの発泡を抑制するために添加量が過剰気味になっていたことから、直接マンホールに添加できるように注入部を追加し調整しやすくすることで、H26年度と比較して約3割の節減が図れた。</p> <p>・消化ガス有効利用調査への協力 県の消化ガス有効利用調査に関して、各設備の消化ガス流量計の調整、流量補正用のデータ採取、シロキサン(シリカ)の定期測定に協力した。</p>		<p>・年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。</p>		A	<p>年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。</p>	A
指定管理者の基本的責務	<p>①環境への配慮 ・宮城県「わが社のe行動(eco do!)宣言」制度の環境配慮実践事業者認定更新 ・グリーン購入の推進 ・冷暖房温度の管理(冷房28℃、暖房19℃) ・エコドライブの推進、低燃費車の使用優先 ・両面コピー、縮小コピーの実施 ・ゴミの分別、再生利用業者への委託 ・貞山運河周辺の環境美化活動の実施(4~12月) ・上水使用量の節減 ・放流水の安定した水質の確保(管理目標値の超過無し) ・温室効果ガス、大気汚染物質の排出抑制</p> <p>②エネルギー管理 ・原単位(処理水1m³当たり使用した電力量) ・エネルギー管理員の配置(人事異動による変更の実施) ・定期報告書、中長期計画書の作成及び提出(6月)</p> <p>・情報公開規程、情報公開実施要綱の整備 ・放流水質データのホームページへの掲載(H26から)</p>		<p>・年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。</p>		A	<p>年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【下水道課・事務所記入】	
			評価		評価
県民等の苦情・要望等の把握とその反映	①見学者から寄せられた要望や意見の反映 ・小学校の見学で、お昼の休憩場所としての提供要請があり会議室を提供した。 ②苦情対応マニュアルの作成と対応 ・隣接する墓地から境界樹木の苦情があり、迅速に剪定を行い対応した。 ・大雨時の溢水問題に関し、作業部会を設置し対策に取り組んだ。 ・会議室の使用に関し、関係機関からの要請に応え貸出(14回)を行い協力した。 ・地域のイベントに関し(七ヶ浜トライアスロン大会、塩釜地区消防訓練)駐車場及び訓練会場として協力した。	・年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営をおこなった。	S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。	S
その他の取組	①自己評価 ・四半期ごとの自己評価書の作成と業務への反映 ②施設の改善についての提案 (指定管理期間中において経費の節減を図り、その節減額を財源に充てるもの) ・機械モニタリングシステムの導入の提案 ・照明設備改善の提案 ・管理棟トイレ改修の提案 ③消化ガスの有効利用に関し、これまでの維持管理の知見を基に、ガス発電設備の導入を提案 ④指定管理業務に係る向こう10年間の経費見積書(H28～H37)を作成し提出した。 ⑤接続点流入水の検査協力 流入水の導電率が高い傾向やりん含有量の高い傾向に関し、水質検査について協力した。 ⑥大学の研究事業として温室効果ガス調査等が仙塩浄化センターを対象として行われたが、年に数回サンプリングの立会いや運転データの提供に協力した。	・年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営をおこなった。	S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。	S
総合評価		・施設の目的である水処理・汚泥処理は、年間を通して管理目標値を超過することなく、安定した管理を行うことができた。また、消化ガスの有効利用に関しても、積極的に協力することができた。大雨時の溢水問題では、県と協力して浄化センターでの対策に取り組んだ等、県と問題を共有して対応にあたることができた。一般公開イベントでは、再来場意向が9割を超えるなど、大きな成果を得ることができた。イベントでのトイレの問題などもあり、提案していた管理棟トイレの改修も実施することができた。	A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者、下水道課・事務所記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【下水道課・事務所記入】
管理運営の課題等	・溢水対策が喫緊の課題と考えます。浄化センター側でできる対応を実施しながら、県及び流域市町関連市町との連携を深め、この問題に対応していきます。また、指定管理者の基本的責務である施設の安定稼働やコスト縮減に引き続き取り組んでいきます。	大雨時、ポンプ場・処理場の能力を大きく超える流入量にも最大限対応できるよう日頃から備えておくことが重要である。 施設の老朽化や津波の塩害による施設の緊急停止を未然に防止するため、細心の注意を払って点検・保守を行う必要がある。